

B-LOOP サービス

ユーザースタートガイド

2025 年 6 月

株式会社イズミコンサルティング

1 目次

1	本書について.....	4
	本書の概要.....	4
	本書の対象者.....	4
2	B-LOOP ポータル.....	5
	B-LOOP ポータル概要.....	5
	B-LOOP ポータル利用までの手続き.....	5
	データ連携までの流れ.....	6
3	物件登録.....	7
	物件とプランの関係.....	7
	物件登録時の組織.....	8
	3.1.1 物件の組織変更.....	8
	物件のアクセス範囲.....	9
	物件の作業メンバー.....	10
	物件の削除.....	11
4	プラン登録.....	12
	プランについて.....	12
	プランの依頼機能.....	12
	4.1.1 依頼機能の使い方の例.....	13
	4.1.2 物件アクセス.....	13
	4.1.3 依頼のキャンセル.....	13
	アプリランチャー.....	14
	プランの削除.....	14
5	Revit 出力.....	15
	B-LOOP for Revit アドオンインストール.....	15
	Revit データの出力.....	15
	B-LOOP 用モデルの確認.....	15
6	Revit データアップロード.....	16
	B-LOOP データのアップロード.....	16
	6.1.1 Revit アップローダー起動時の注意点.....	16
7	CADECT.....	17
	CADECT の補正.....	17
	CADECT の実行.....	17
	7.1.1 CADECT 起動時の注意点.....	17
8	STABRO 負荷計算 R3.....	18

B-LOOP データ	18
STABRO 負荷計算 R3 の起動	18
計算後の STABRO データ取り込み	18
9 他のアプリとの連携	19
STABRO 負荷計算 R3 以外のアプリとの連携	19
10 その他	20
Revit データの再アップロード	20
管理ファイル	20

1 本書について

本書の概要

本書では、B-LOOP をよりご活用いただくために、一例として B-LOOP ポータルアプリを利用して、物件作成から Revit データを B-LOOP に取込んで STABRO 負荷計算アプリケーションと連携する方法をご説明いたします。

B-LOOP ポータルの詳細な使い方は、[B-LOOP ポータル_ユーザーズマニュアル](#)をご参照ください。

本書の対象者

B-LOOP ポータルを利用して、業務を行う方

2 B-LOOP ポータル

B-LOOP ポータル概要

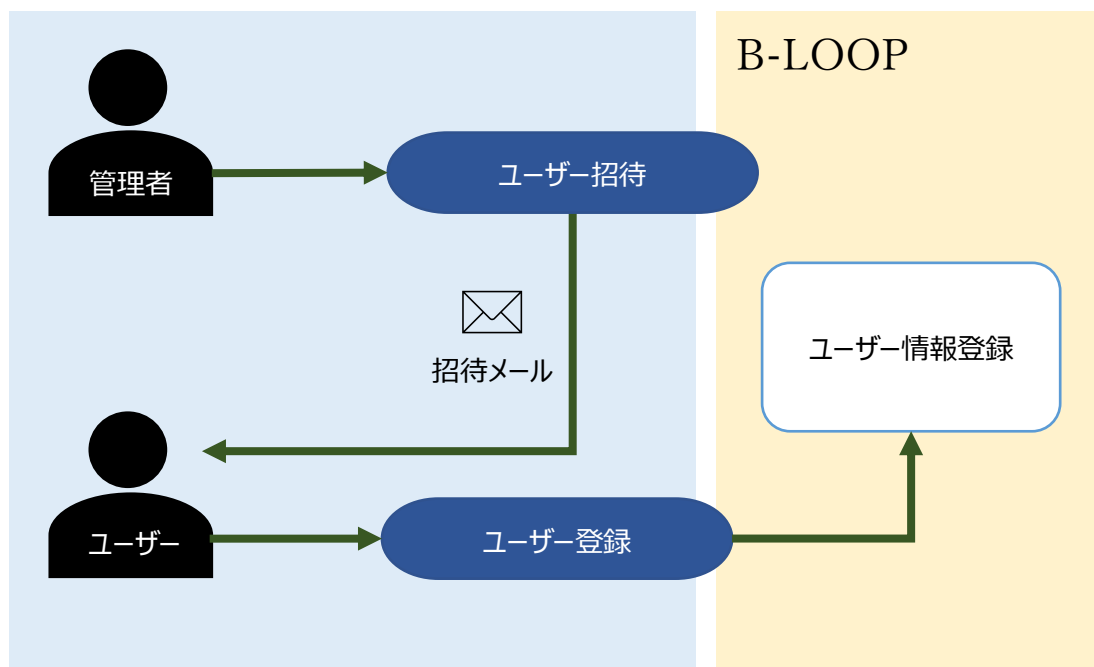
B-LOOP ポータルとは、B-LOOP のデータを利用してアプリケーションを連携するための Windows アプリケーションです。

B-LOOP ポータルの主な機能は以下の通りです。

- 物件、プランの登録（物件管理）
- Revit データのアップロード
- CADECT アプリの起動
- STABRO 負荷計算、SeACD2、A-repo4 建築など各アプリの連携ソフトの起動

B-LOOP ポータル利用までの手続き

B-LOOP ポータルを利用するためには、B-LOOP のユーザー登録手続きが必要です。
貴社の B-LOOP 管理者が管理サイトからユーザー招待すると、ユーザーに招待メールが届きます。招待メールに記載されている URL からユーザー登録を行ってください。



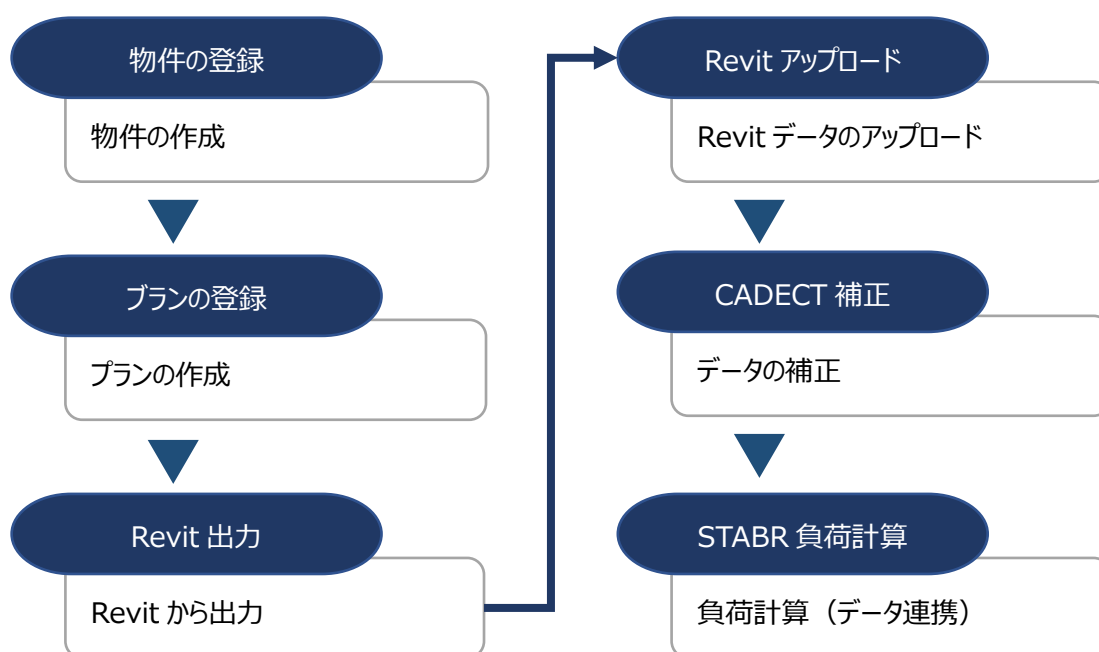
ユーザー登録、B-LOOP ポータルのインストールについては、[B-LOOP ポータル_ユーザーズマニュアル](#)を参照してください。

招待メールの有効期限は、管理者がユーザー招待を行ってから7日間以内です。7日間経過するとユーザー登録ができなくなります。

有効期限切れによりユーザー登録ができなくなった場合は、管理者に連絡して、再度招待メールの送信を依頼してください。

データ連携までの流れ

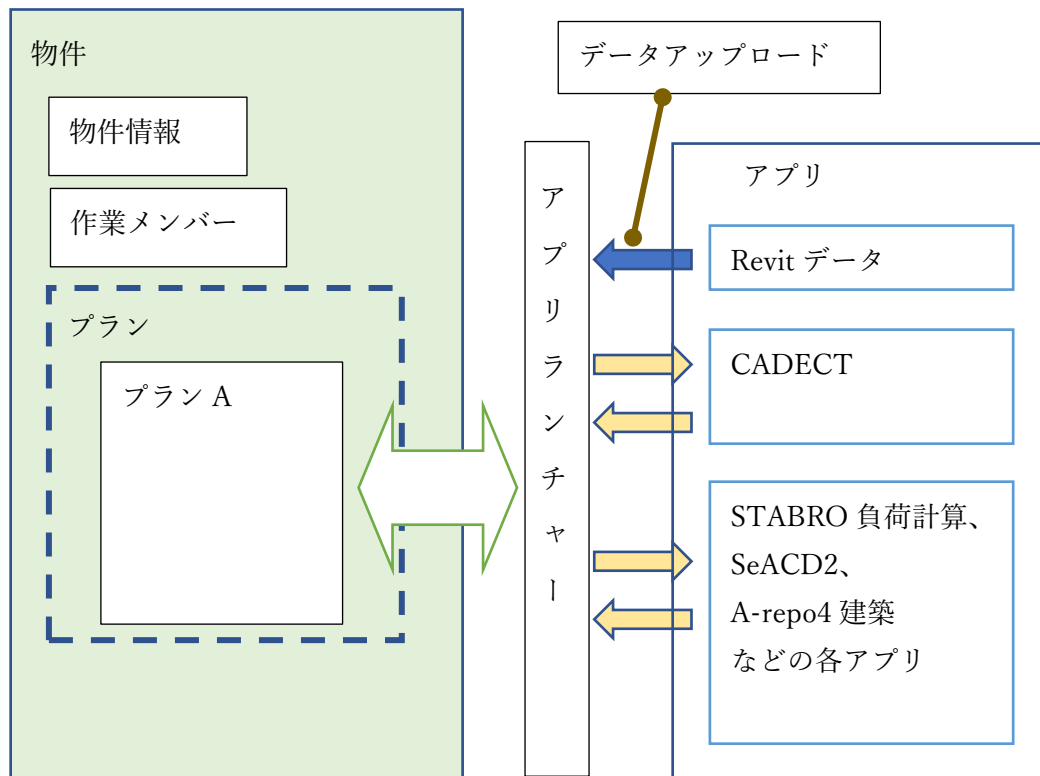
B-LOOP ポータルにログイン後、Revit データを用いてデータ連携を行うには以下の手順で作業を行います。



3 物件登録

物件とプランの関係

B-LOOP でデータ連携をするためには、まず B-LOOP ポータルから建物の情報を物件として登録します。その後、登録した物件に対してプランを登録します。ユーザーは登録したプランに対して、Revit データをアップロードして、データ連携を行います。



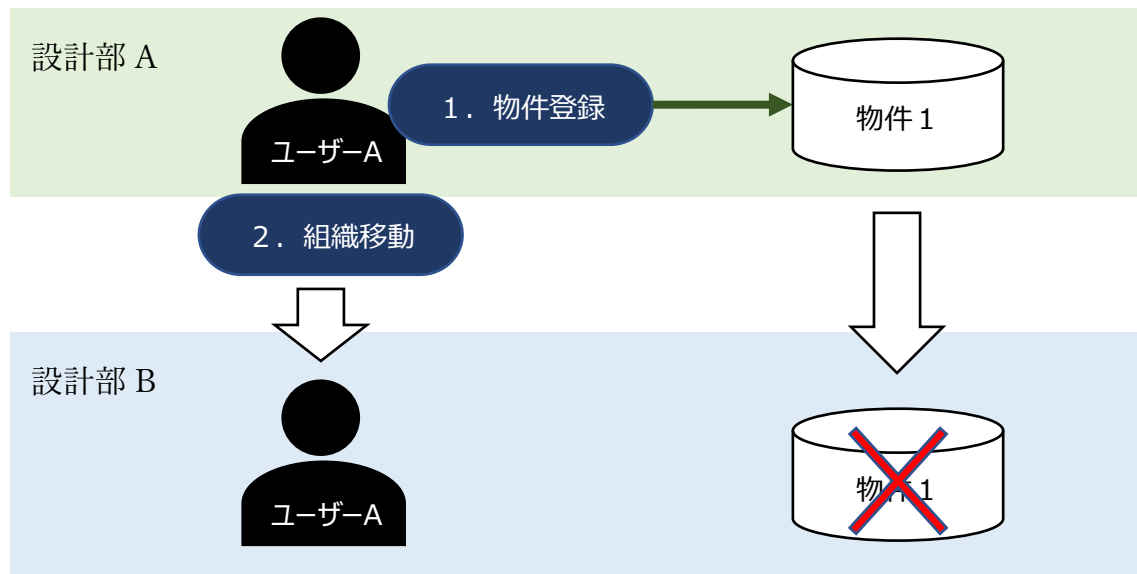
各アプリは、プランのアプリランチャーから起動することができます。

物件登録時の組織

物件は登録したユーザーの所属する組織に置かれます。

そのため物件を登録したユーザーが組織を移動しても、物件は移動しません。

以下は、組織として、設計部 A と設計部 B を作り、ユーザーが設計部 A で物件を作成した後、設計部 B に移動した場合の例です。



物件 1 は移動しない。

3.1.1 物件の組織変更

現状は物件の組織の変更はできません。

物件の組織変更をご希望される場合は、弊社サポート窓口にお問い合わせください。

物件のアクセス範囲

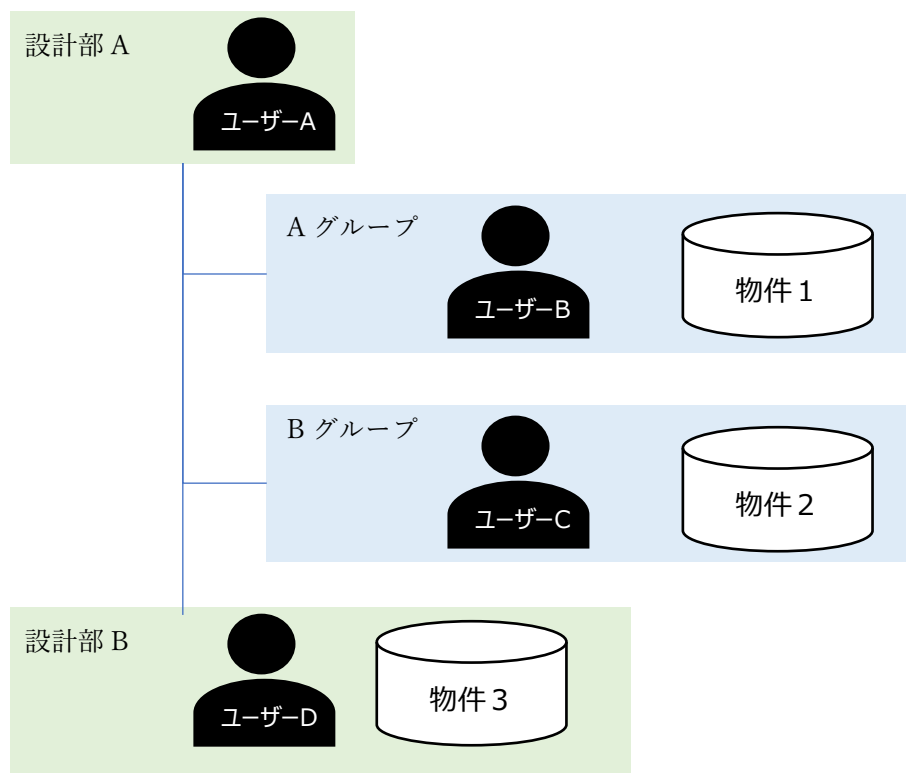
B-LOOP ポータルでアクセスできる物件は、B-LOOP ポータルにログインしたユーザーの所属している組織、および配下の組織にある物件です。※1

アクセス可能な物件は、B-LOOP ポータルのデータ管理の物件一覧に表示されます。他の組織の物件にアクセスしたい場合は、[物件の作業メンバー](#)に追加してください。

※1 ユーザーの権限が「一般」の場合です。

ユーザーの権限が「管理」の場合は、組織に関わらず企業内の全ての物件にアクセスできます。

ユーザーの権限が「ゲスト」の場合は、全ての物件にアクセスできません。



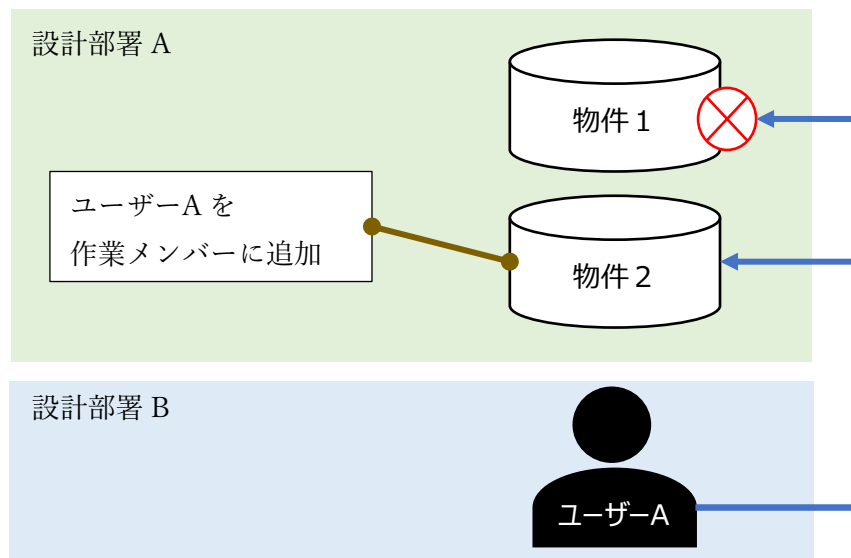
この図の例では、各ユーザーは以下の表のように物件へのアクセスができます。

ユーザー	アクセスできる物件
ユーザー A	物件 1、物件 2
ユーザー B	物件 1
ユーザー C	物件 2
ユーザー D	物件 3

物件の作業メンバー

物件登録時に物件に別組織の作業メンバーを追加することで、別組織のユーザーと特定の物件のみ共有することができます。

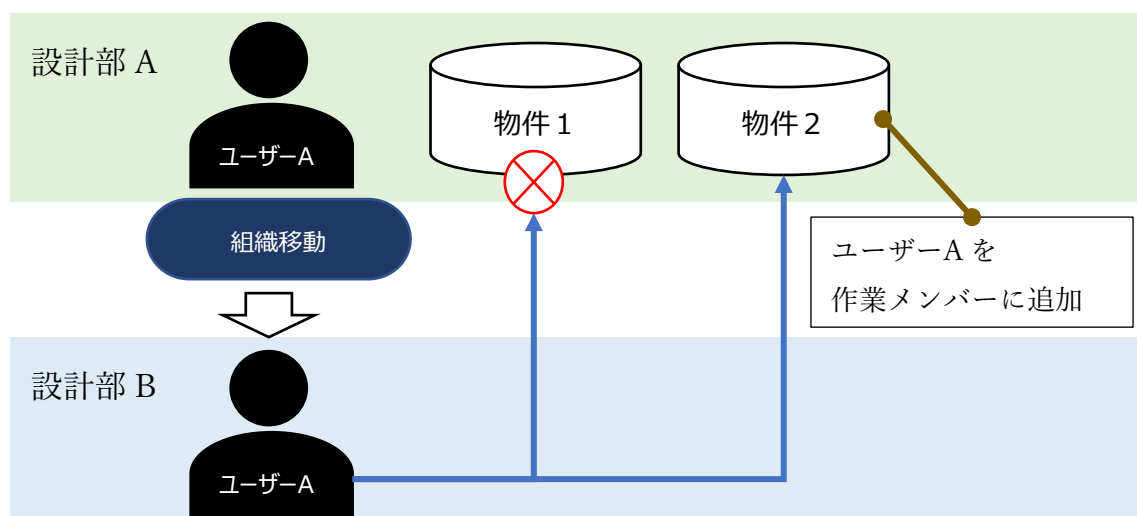
以下の図は、物件 2 に別組織のユーザー A を作業メンバーに追加した時の例です。
ユーザー A は物件 1 とは別の組織のため、設計部署 A にある物件 1 にはアクセスできませんが、作業メンバーとして追加された物件 2 にはアクセスすることができます。



アクセス権限を持つ組織にある物件の作業メンバーになった場合は、既に組織内の全ての物件にアクセスができるため、アクセス制限は行われません。

ただし、上記アクセス権限がなくなった場合、作業メンバーの物件のみアクセスができるようになります。

以下の図ではユーザー A は設計部 A に所属の時は物件 1 と物件 2 にアクセスできますが、設計部 B に移動した後は、物件 2 のみにアクセスができるようになります。



物件の削除

B-LOOP ポータルから物件を削除することができます。

物件を削除すると物件の持つファイルがすべて削除されて、物件一覧からなくなります。

削除されるファイルは、以下となります。

- 物件管理ファイル
- プラン管理ファイル
- 依頼管理ファイル

削除された物件は、B-LOOP ポータルの削除済み物件から参照することができて、復活することができます。

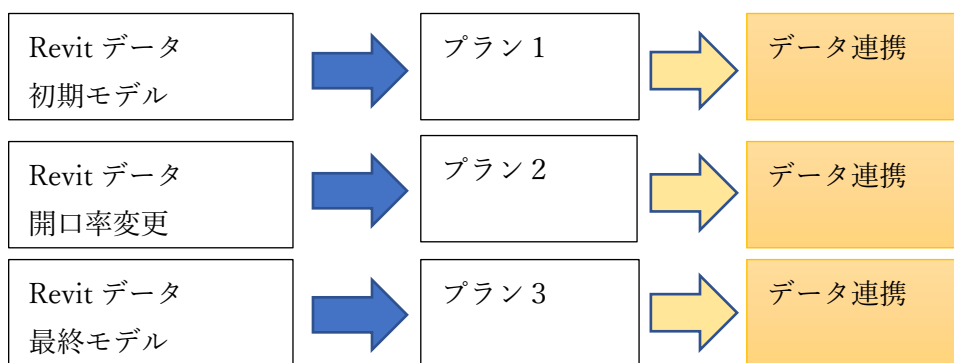
ただし、物件が削除された時に、削除されたファイルは復活できません。

4 プラン登録

プランについて

ユーザーはプランに対して、Revit のデータをアップロードして、各アプリでデータ連携を行います。プラン間のデータの共有はありません。

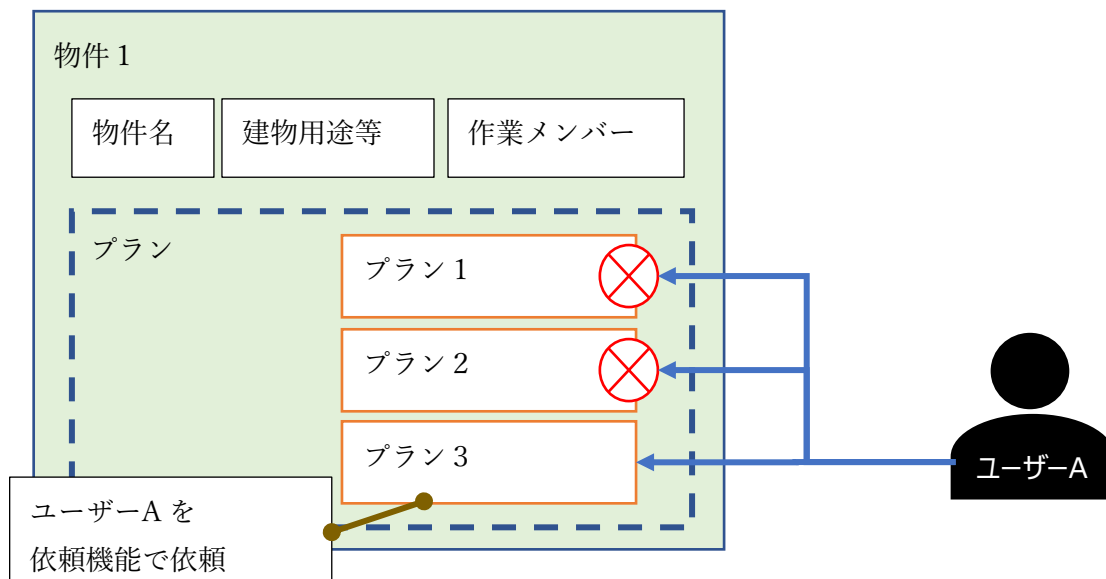
また、一つの物件に対して複数のプランを作成することができます。物件に図面パターンが複数ある場合や、図面が変更された場合でも、それぞれプラン登録することにより各図面の連携データを保護し、プラン毎にデータの連携を行う事ができます。



プランの依頼機能

物件にアクセスできないユーザーに対して特定のプランのみにアクセスできるようにしたい場合、依頼機能が利用できます。

以下の図は、物件 1 のプラン 3 をユーザー A へ依頼した時の例です。



4.1.1 依頼機能の使い方の例

全ての物件にアクセスできないゲスト権限を持つ協力会社のユーザーに対して、依頼機能を利用して特定のプランのみ作業を依頼する運用をした場合、協力会社のユーザーには、不必要な情報にアクセスできないように制限を掛けることで、情報の漏洩等の防止に繋がります。

4.1.2 物件アクセス

依頼を受けたユーザーが、当該プランの物件にアクセスする権限を持っている場合は、アクセス範囲は変わらず物件にもアクセスができます。

ただし、ユーザーの組織移動等により物件のアクセス権限がなくなった場合は、依頼を受けたプランのみしかアクセスができなくなります。

4.1.3 依頼のキャンセル

依頼者は依頼中の作業を中断または取り消すことができます。

依頼を受けていたユーザーは当該プランにアクセスできなくなります。

アプリランチャー

プランから連携するアプリを起動するためのアプリランチャーを起動することができます。

アプリ	説明
Revit	Revit アップロード
Rebro	Rebro 連携用データのダウンロード
CADECT	CADECT の起動
STABRO	STABRO 負荷計算の起動
SeACD2	SeACD2 の起動
A-Repo4 建築	A-Repo4 建築の起動

プランの削除

物件からプランを削除することができます。

プランを削除するとプランの持つファイルがすべて削除されて、プラン一覧に表示されなくなります。

削除されるファイルは以下となります。

- プラン管理ファイル
- 依頼管理ファイル

削除されたプランは、B-LOOP ポータルの削除済みプランから参照することができて、復活することができます。

ただし、プランを削除された時に、削除されたファイルは復活できません。

5 Revit 出力

Revit アドイン「B-LOOP for Revit」インストール

Revit データを B-LOOP にアップロードするために、Revit のデータを B-LOOP 用データに変換して出力する必要があります。

変換/出力するための Revit アドイン「B-LOOP for Revit」をインストールして、B-LOOP 用データを出力してください。

B-LOOP for Revit のインストール方法は B-LOOP for Revit セットアップガイドをご参照ください。

Revit データの出力

Revit を起動後、B-LOOP for Revit を利用して Revit データから B-LOOP 用データを出力します。

出力されたデータは「revit.rblp」というファイル名でローカル PC に保存ができます。

アドインの操作は B-LOOP for Revit 操作マニュアルをご参照ください。

B-LOOP 用モデルの確認

アドインは Revit データを B-LOOP 用データに変換・出力しますが、Revit の書き方によっては、変換が正しく行われない場合があります。

モデリングガイドをご参照いただき、Revit データが正確に B-LOOP データとして出力されるようにしてください。

6 Revit データアップロード

B-LOOP データのアップロード

アプリランチャーから Revit アップローダーを起動すると、アップロード用の画面が Web ブラウザで開きます。

Web ブラウザの画面に `revit.rblp` をドラッグアンドドロップしてアップロードします。

6.1.1 Revit アップローダー起動時の注意点

Revit アップローダーが起動している間、B-LOOP ポータルは「連携終了確認」のダイアログが表示されています。

アップロードする前に「連携終了確認」のダイアログの OK ボタンを押下してしまうと、アップロードが失敗します。

必ず B-LOOP データのアップロードが完了した後に、「連携終了確認」のダイアログの OK ボタンを押してください。

7 CADECT

CADECT の補正

B-LOOP データのアップロードをすると、B-LOOP に Revit データが取り込まれますが、Revit の書き方によっては、全て取り込まれない可能性があります。

取り込まれなかったデータや、意図しない取り込み方がされたデータは、CADECT を利用して補正を行います。

CADECT の実行

B-LOOP データのアップロードが終わった後に、B-LOOP ポータルのアプリランチャーから CADECT を起動します。

CADECT を起動すると、アップロードした B-LOOP データが Web ブラウザで簡易空間モデルとして表示されます。

CADECT の利用方法については、CADECT 操作マニュアルをご参照ください。

7.1.1 CADECT 起動時の注意点

CADECT が起動している間、B-LOOP ポータルは「連携終了確認」のダイアログが表示されています。

「連携終了確認」のダイアログの OK ボタンを押下してしまうと、CADECT の編集を保存できなくなります。

必ず CADECT の作業が完了し、保存をした後に、「連携終了確認」のダイアログの OK ボタンを押してください。

8 STABRO 負荷計算

B-LOOP データ

CADECT の補正が終わりますと B-LOOP の連携が利用できる準備が整いました。
ここでは連携アプリとして STABRO 負荷計算を実行します。

STABRO 負荷計算の起動

B-LOOP ポータルのアプリランチャーから STABRO 負荷計算を起動してください。
CADECT で補正された Revit データを使用して、STABRO 負荷計算が起動します。
STABRO 負荷計算の利用方法については、STABRO 負荷計算操作マニュアルを参照してください。

計算後の STABRO データ取り込み

STABRO 負荷計算で加えた修正や結果を保存すると、データを B-LOOP に自動で取り込みます。
取り込まれたデータは、次回 STABRO 負荷計算起動時に STABRO 負荷計算に反映されます。

9 他のアプリとの連携

STABRO 負荷計算以外のアプリとの連携

ここまで本書では、STABRO 負荷計算に連携するまでの流れを解説いたしました。B-LOOP では STABRO 負荷計算以外にも、ポータルアプリランチャーからアプリケーションを起動し、これまで入力したデータと連携することができます。

STABRO 負荷計算以外の連携アプリケーションは以下の通りです。連携アプリケーションは今後も追加予定です。

- SeACD2
- A-Repo 4 建築

個々のアプリケーションの操作方法に関しては、各アプリケーションの操作マニュアルをご覧ください。また、連携データの内容の詳細については各アプリケーションのデータ変換対応表をご覧ください。

10 その他

Revit データの再アップロード

既に Revit データアップロード済みのプランに対して、再度 Revit データをアップロードした場合、CADECT や連携アプリのデータは全てクリアされます。

管理ファイル

B-LOOP の物件やプランでは、作業に必要な資料等をアップロードすることができます。

管理ファイル	利用方法	想定用途
物件管理ファイル	物件登録/編集画面から	物件全体の資料
プラン管理ファイル	プラン登録/編集画面から	プラン毎の資料
依頼管理ファイル	依頼登録/編集画面から	依頼時の資料

依頼機能でプランに招待されたユーザーは、物件へのアクセス権限がない場合、物件管理ファイルを参照することはできません。